



旅 GIRL

教えて!



窪 咲子(くぼ さきこ)

編集、ライター。出版社を経て、世界一周の旅に出発。トラベルライターとして仕事をしながら世界中を旅する。今までに訪れた国は75カ国以上。地球の歩き方WEBサイトで世界各国で出会っ

たイケメンのストリートスナップを掲載する「世界イケメンハンター」を執筆。帰国後は「マツコの知らない世界」や「今夜くらべてみました」などメディアにも出演。一児の母となり、子連れ旅を満喫中。著書に「GIRL'S TRAVEL」(ダイヤモンド社)、「恋する世界一周」(イカロス出版)。



oshiete

好きな「旅」をお仕事にされて良かったなあ、と思うことはどんなことですか？
逆に残念だなあと思うこともしあれば教えてください！応援してます！

旅行を仕事にして良かったと思うことの1番は、やはり世界中いろいろな場所に行けることです。しかも、旅費は無料。雑誌やWEB媒体の記事執筆や観光局のパンフレット制作、プロモーションのお仕事など、自分では行くことのできなかった場所に行き、体験できることは、旅行好きにとって夢のような仕事だと思います。



よく「どうしたら旅行ライターになれるか?」と質問をいただくのですが、その方法はさまざま。一番手取り早いのは、WEB媒体のライター募集に応募することではないか

と思います。私の場合は、出版社を辞め、フリーランスになるときに営業したり、ブログに世界一周旅行の様子を365日アップしていました。発信することもとても大事で、ブログやSNSから仕事につながったことも数多くあります。とくにInstagramなどで気軽に情報を発信できる時代なので、旅行を仕事にするチャンスも多いのではないのでしょうか。

そして、ご質問いただいていた「残念だと思うこと」ですが、もともと地図を持たずに街を歩き、出会いや発見を楽しむような自由気ままな一人旅をしていたようなタイプなので、海外取材の際に朝



から晩まで、分刻みのスケジュールが組まれており、移動はすべて手配してもらった車。街を歩くことも自由時間がなく、帰国するときに、「もっと自分の足でその土地を歩いてみたかったな…」



と思うこともあります。もちろん仕事なので割り切るようにしていますが、旅行=遊びではなくってしまうのは、旅行を仕事にする者の宿命かもしれません。

また、フリーランスの旅行ライターだと、会社員のような月給やボーナスがないので、計画性がないと収入が不安定になるケースも。とくに取材旅行中は、執筆に割ける時間が減るので、収入を維持し続けることが難しいのです。私は、2016年のブラジルワールド



カップの際に、1カ月以上ブラジルに滞在し、帰国後、見たことのない桁のクレジットカードの請求に泡を吹きそうになったことがあります(笑)。

コロナウイルスの影響で取材はすべてキャンセルになったり、波もありますが、刺激も多くとっても楽しい仕事です。今こうして、私の書いた文章を読んでもらっている方がどんなことを思うのか想像するとワクワクします。旅先で「ブログや文章を読みました」と声をかけてもらう瞬間がとてもうれしいので、いつかどこかでお会いできることを楽しみにしています。

最近の

旅 ニュース

アメリカを中心にオーストラリアやタイなどでも販売されている、このシャンプーをご存知ですか？ ハワイに行くたびに購入しては、ストックして大切に使用していたお気に入りのヘアケアシリーズ[Vogue Organix]のブルーのボトル「モロッカン・アルガンオイル」がついに底を突いてしまいました…。エキゾチックな香りとアルガンオイルが豊富に含まれしっとりとした使い心地は、一度使ったら手放せなくなるほど。とくにヘアオイルがおすすです。スーパーマーケットや薬局でトラベル用の小さなサイズも売られているので、お土産にも良さそう。次にハワイに行ける日が来たら、スーツケースいっぱいこのボトルを詰めて帰ってきたいと思います…!





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.24
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P18



インタビュー P02
宇垣美里
未知のものに出会う、
何者でもない自分である。
突き詰めていくと、結局は「旅」になる。



コースホステルははじめの一步 P20



Youth Hostel Pick up P08
新しい時代に、心地よい距離感のある空間——
「東京の家」として親しまれる施設に。
東京上野コースホステル



教えて! 旅GIRL P21



Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12
一生に一度の大冒険 人生が変わる!
海外ロングトレイル&カヌールート
■はるかピレネーから続く巡礼の路
ゴールはサンティアゴ・デ・コンポステーラ
■世界のハイカーが憧れるロングトレイルの聖地
■古代のインカ道を利用したマチュピチュへ続くトレイル
■極北の地を流れる大河ユーコン川をカヌーで北上



松島むうの晴れときどき旅びより P22